

競 技 注 意 事 項

1. 本大会に適用する競技規則は、2019年日本陸上競技連盟規則と渡島中体連申し合わせ事項による。
2. サブトラックとして競技場内雨天練習場、または競技場外走路を利用すること。投てきの練習はできない。なお雨天練習場を使用する際には、走方向を確認し安全に留意して使用すること。アップについては、6:45～8:00と開会式終了後～9:10までは競技場内を開放する。
3. 貴重品は各自が保管する。
4. 選手はその競技する以外、トラック、フィールドに立ち入ることはできない。また、いかなる選手も本部席前を通過することは出来ない。ただし、表彰の時はその限りではない。
5. 選手の招集方法について
招集開始、および完了時刻はすべてその競技の開始時刻を基準とする。

トラック競技	→	競技開始時刻の15分前まで
フィールド競技	→	競技開始時刻の30分前まで

- a. 上記の時間内に第4コーナーゲート付近で行う。招集を完了した後は、競技者系の指示指導に従う。
- b. 招集完了時刻に遅れた者は棄権とみなし処理する。
- c. 招集時刻に他種目に出場しているなどの理由がある場合は事前にその旨を当該競技役員に申し出る。
6. ナンバーカードは、ユニフォームの胸と背につける。ただし、跳躍競技は胸、背のいずれかでよい。
7. 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載通りとする。
8. トラック競技で欠場者があった場合、そのレーンは空ける。
9. トラック競技で決勝進出者の組合せ、レーン順は主催者で決定し、掲示する。
10. 競技規則162条8により、1回目から不正スタートした競技者は失格とする。ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は全て失格とする。スターターの合図は英語とする。（「On your marks」「Set」）
11. 競技規則第162条5については、原則適用しない。（悪質なものは除く。）
12. リレーのオーダー用紙は招集完了時刻の1時間前まで、ラウンド毎に競技者係に1部届ける。
13. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。（最後の1人になるまで）

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	以降3cmあがり
女子	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45		以降3cmあがり
男四種	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	以降3cmあがり
女四種	1.05	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35		以降3cmあがり
棒高跳	1.80	1.90							以降10cmあがり

※天候、その他の条件によって高さを変更する場合は審判長が決定する。

14. 表彰について
8位までの入賞者を表彰するので、本部席の入賞者席で待機する。
15. 競技用具は、競技場備えつけの用具を使用する。砲丸の検定は行わない。
16. スパイクピンについては、オールウェザー専用ピンを使うこと。長さは9mmまでとする。ただし、走高跳は12mmまでよい。本競技場でのニードルピンの使用は認めていない。